



LWB-24(A) / LWB-72(A)メイン FPGA プログラム
Ver. G (Standard Edit.) / Ver. H (Expanded Edit.) / Ver. B (async*)
リリースノート

オタリテック株式会社

2024 年 12 月 25 日

LWB-24 / LWB-72 メイン FPGA プログラム Ver. G (Standard Edit.用), Ver. H (Expanded Edit.用)および Ver. B (async*用)をリリースいたしました。旧バージョン***からの変更内容は以下の通りです。なお、LWB-24/72 メイン FPGA においては Ver. E 以降、LWB-24/72 のエディション(Standard Edit., Expanded Edit.)により最新のバージョン番号(E, F, G, ...)が原則的に異なりますのでご注意ください。

*) LWB-24A, LWB-72A を指します(下記においても同様)。

**) LWB-24 / LWB-72 Standard Edit.用 Ver. G, 同 Expanded Edit.用 Ver.Hについては、LWB2472_RN_mf_sGeHaA.pdf(2024 年 6 月 25 日付)としてリリースノートを発行していますが、下記修正項目 1-3 を追加し、改めてリリースします(市場への出荷はありませんのでユーザー皆様への影響はございません)。LWB2472_RN_mf_sGeHaA.pdf も併せて参照してください。

***) Standard Edit.は Ver. F, Expanded Edit.は Ver. G, async は Ver. A を指します。

【 重要 】

- ・メインFPGA Ver. F(Standard Edit.の場合), Ver. G(Expanded Edit.の場合), Ver. A(async の場合)より前のバージョンからアップデートする場合は、同バージョン以前のリリースノートもご確認ください。

なお、レガシー・モジュールとは、LWB-16/64 用モジュールを LWB-24(A)/72(A)でも使用できるようにアップデートしたモジュールを、2472 モジュールとは、LWB-24(A)/72(A)専用モジュールを指します。

1 修正された不具合 (※下記 1-3 は Standard Edit. 用プログラムには含まれません)

1-1 レガシー・モジュールの入力チャンネルにレベルの低い信号が入力されると歪率が悪化する場合がある

備考: この不具合が発生する頻度には LWB 本体の個体差があります。歪率が悪化する場合、基本的には FPGA プログラムのバージョンアップ以外に回避策はありません。

1-2 メイン・モジュール⇄2472 モジュール間のデータ通信において、2472 モジュールが装着されていない場合にデータが不安定となり、メイン・モジュールに対して 2472 モジュールのステータス変化が通知されることがある

備考: ステータス変化が LWB 本体の動作に与える影響は軽微で、無視できる範囲に収まっていました。

1-3 メイン・モジュール⇄フィックスド MADI モジュール間のデータ通信において、MADI 入力が無い場合にデータが不安定となり、メイン・モジュールに対してフィックスド MADI モジュールのステータス変化が通知されることがある

備考: ステータス変化が LWB 本体の動作に与える影響は軽微で、無視できる範囲に収まっていました。

以上